



2010年10月

「行けた」 念願のお墓参り



1 日のほとんどの時間を寝て過ごすお客様は、亡き夫のお墓参りに行きたいと強く願っていた。ただ、頼れる身内もない。旅の実現は難しいとも思っていた。しかしある日、知り合いの弁護士がしゃらく旅倶楽部を紹介。かすかな希望が見えた。

お墓参り。一言で言うと簡単かも知れないけど、その墓地の状況を把握しないと行けない。場合によっては道具を使わなくては行けない。その許可も取らなくてはならない。

しゃらくスタッフが富山まで足を運び、お寺の中にあるお墓を下見。

コンクリートの段差だらけだった。車いすでその通路を通ることは難しい。でも、せっかくお墓に来たのに仏前の前で手を合わせるこ

とができなければ、遠路はるばる足を運んだ旅が全て台無しになる。

昔仲のよかったご友人に会いたい。それも今回のお客様の願いの一つ。でも、そのご友人の連絡先がわからないといった状況で始まった旅の企画。

二度富山に足を運び、お墓の参拝の仕方をあれこれ検討したり、ご親戚の皆様にお目にかかって協力を仰いだり。

特に、ご友人探しには骨が折れた。真夏の炎天下の中、T シャツが汗で重くなるのを感じながら、やっとの思いで探し出した。

旅行当日、待ちきれない様子のお客様。介護タクシーで新大阪駅に向かい、サンダーバー

ドで富山へ。久しぶりの長旅に、疲れる事もなく「元気、元気」と口癖のようにおっしゃってください。

お墓も問題なく、お寺のお勤めも仏前で手を合わせることができた。

このたった 40 分程度のコーディネートをするにも数十時間かかっている。でも、40 分以上の価値が十分にあった。

夜は、何十年も前にいつも一緒にいたご友人とご家族がかけつけてくださった。

今までにない最高の笑顔。久しぶりの再会、体は動かなくなったけど、心は当時のまま元気だよ、とおっしゃるお客様。

翌日はご実家に帰り、生まれ育った町を歩く。見慣れていたはずの風景も、久しぶりに見ると不思議と新鮮さを感じる。

1泊2日の旅行。いろんな不安があったけど、しっかり計画をしていれば旅行を楽しむことができる。

帰りのタクシーの中で、「次は北海道旅行に行きたい」とお客様。しゃらく旅倶楽部がしっかりコーディネートいたします。

1 日目

時間	行程
8:10	エスコートスタッフがお出迎え
8:20	出発
12:48	JR 高岡駅に到着
13:10	昼食
14:15	介護タクシーでご主人のお墓へ
14:30	お墓参り
15:20	介護タクシーでご主人のご実家へ
17:00	ホテルに到着
18:30	夕食 / 入浴
22:00	就寝 ※午前0時、午前2時、午前4時、午前6時に体位交換を行ないました。

2 日目

時間	行程
7:30	起床
10:00	ホテルを出発
11:00	ご実家に到着
12:30	昼食
13:50	介護タクシーで JR 高岡駅へ
14:00	JR 高岡駅に到着
17:30	JR 新大阪駅に到着
18:30	施設に到着
18:50	エスコートヘルパーが帰社

担当者からのコメント

希望を持ってくださった事が、何よりも嬉しかったです。コテコテの関西弁で、「ホンマニ頼むで〜。頼りにしてるで〜」というお言葉は、私達のモチベーションを最大化します。手配から準備・調査と難しい旅行でしたが、それ以上の思い出を私達にプレゼンとしてくれた旅行でした。ありがとうございました。

その他のメモ

介護度 要介護 5

年齢 69 歳

出発地 大阪府大東市

行先 富山県

同行 エスコートヘルパー 2 名
現地で看護師 1 名

